

シンポジウム「心理学のキャリアパスを考える：刑事司法や矯正の現場は心理学にどのような人材を求めるのか？」の開催について

1. 主 催 日本学術会議 心理学・教育学委員会法と心理学分科会
日本認知心理学会・法と心理学会
2. 日 時 平成20年5月31日（土）14：15～15：45
3. 場 所 千葉大学 総合校舎B号館（千葉県千葉市稲毛区弥生町1-33）
4. 次 第

開催趣旨

今日、刑事司法や矯正の現場に対する心理学からの貢献がますます求められている。少子高齢化が急ピッチに進む中、犯罪者の高齢化も進み、高齢者に対する尋問のやり方や刑務所における高齢受刑者の処遇も最新の心理学の知見を生かした工夫が必要である。また、犯罪被害者に対する支援も従来のカウンセリングとは異なる新たな対応が求められている。さらに裁判員制度導入を目前にして、心理学からの貢献へのニーズもこれから確実に高まっていくと予想される。現在でも、家庭裁判所の調査官、矯正施設の心理技官、県警の科捜研研究員など刑事司法や矯正の現場で活躍している人たちは少なくないが、これからますます優れた職業人養成の期待は強まると思われる。

本シンポジウムでは、司法や矯正の現場ではどのような人材が求められているのか、人材養成のためにはどのような教育が必要なのか、心理学専攻生のキャリアパスをどのようにして切り開いていくのかを考える。

開会あいさつ：長谷川壽一（東京大学教授、日本学術会議会員・心理学・教育学委員会委員長）

司会：箱田裕司（九州大学教授、日本認知心理学会副理事長、日本学術会議連携会員）

I 講 演

- 1) 後藤昭（一橋大学教授、法と心理学会理事長、日本学術会議連携会員）
- 2) 浜井浩一（龍谷大学教授）
- 3) 仲真紀子（北海道大学教授、法と心理学会副理事長、日本学術会議連携会員）

II 討論など

参加申込方法

E-mailもしくはFaxにて必要事項（氏名、所属、連絡先電話番号、E-mailアドレス）をご記入の上、以下の問い合わせ先担当宛、お申し込みください。

九州大学人間環境学研究院心理学講座箱田研究室

E-mail:hakoda@lit.kyushu-u.ac.jp Fax: 092-642-2420

*定員（300名）となり次第、締め切りとさせていただきます。